

研修会報告

「激変する国際環境の中で日本産業は如何に生き残るか?」

講演者:みずほフィナンシャルグループ常務執行役員リサーチ&コンサルティン グユニット長

兼 グループCSuO(Chief Sustainability Officer) 牛窪 恭彦 氏

研修担当理事: 須内 康史/清水 梨江子

2025年7月18日(金)、ワシントン日本商工会はみずほフィナンシャルグループ常務執行役員リサーチ&コンサルティングユニット長 兼 グループCSuO(Chief Sustainability Officer)の牛窪恭彦氏をお招きし、「激変する国際環境の中で日本産業は如何に生き残るか?」と題するオンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。

講演者の牛窪恭彦氏は、みずほフィナンシャルグループにて、法人営業、国内外のマクロ経済調査等を担当され、みずほ銀行の産業調査部長も務められました。役員就任後、継続して政府のエネルギー政策関連の委員会委員を務められ、2022年9月からみずほフィナンシャルグループの初代グループCSuO (Chief Sustainability Officer)に就任され、サステナビリティ戦略企画・推進の要としてご活躍されています。

今回の研修会では、「分断」と「連携」が交錯し激変する国際環境の中で、日本の産業が「生きる道」についての考察をわかりやすく解説頂きました。その中で、日本及び日本産業の「強み」について、社会資本や技術、素材や製品・サービスの様々な視点からの分析をご説明





頂いたで、その「強み」を軸とした有望領域とそこでの「勝ち筋」について、具体的な例を挙げながら解説頂きました。また、足元で高まりを見せる地政学リスクも踏まえ、その状況を逆手にとり「勝ち筋」に生かす視点についても触れて頂き、参加者は熱心に耳を傾けていました。牛窪CSuOの産業調査の深い知見に基づき、日本産業全体を俯瞰しつつ個別の産業の絵姿をご説明下さり、参加者にとって非常にわかりやすく、示唆に富む講演となりました。



講演後には、会場の参加者から数多くの質問が寄せられ、講師の牛窪CSuOに一つ一つ丁寧に応答頂き、終了後も会場での懇談が続きました。参加者からは「非常に興味深く、もっと話を伺いたかった」等のポジティブなコメントを多数頂戴しました。ワシントンDCご来訪中のお忙しい日程の中で貴重な講演をお聞かせ下さいました講師の牛窪CSuOに、あらためまして厚く御礼申し上げます。

商工会では今後も会員の皆様にとって有益な機会となる研修会を企画・運営して参りたいと思いますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。



以上



登録情報の ご確認、更新をお忘れなく



法人会員、個人会 員ともにご登録電話 報号、メールアド レスなど)にご変 更がある場合は、 お気軽に事務局ま

でメール(office@jcaw.org)にてご 連絡ください。

会報やその他の情報がタイムリーにお 手元に届きますよう、登録情報の更新 にご協力ください!

